
あかつき証券(株) 2027年3月期 第1四半期 決算説明

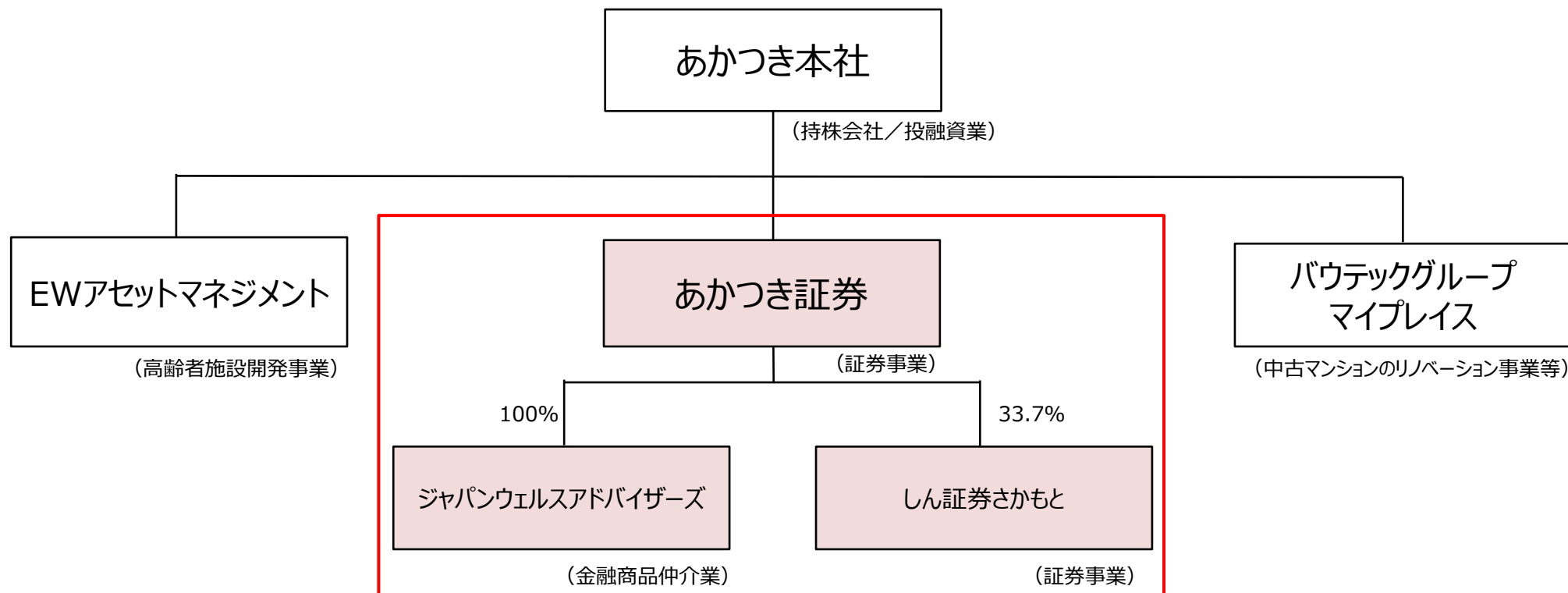
本資料は、2027年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2026年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要

◆（参考）連結対象について

■ あかつき本社グループ構成図（2026年6月末現在、主要グループ会社のみ記載）



あかつき証券連結範囲

- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2025年4月に「株式会社しん証券さかもと」を持分法適用会社化（議決権所有割合33.4%）。

◆2027年3月期 第1四半期決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は9,046億円（前期末比1,008億円増加、前期末比12.5%増）となり、過去最高を更新した。特に、金融商品仲介サービス部門の預り資産残高は6,020億円（前期末比15.2%増）と大幅に増加した。また、顧客からの入出金庫額は297億円の純増となり、継続的な資金流入が預り資産残高の拡大に寄与した。
- ✓ 営業収益は4,793百万円（前年同期比+54.3%）となった。株券委託手数料および投資信託の販売増加により受入手数料は2,921百万円（同+76.0%）と増加した。トレーディング損益は1,696百万円（同+28.3%）と増加した。
- ✓ 販売費・一般管理費は4,057百万円（前年同期比+48.3%）となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動する変動費は3,115百万円と前年同期比+68.7%増加した。一方、固定費は942百万円（同+5.9%）にとどまり、収益拡大に対して適切にコントロールされた。
- ✓ 営業利益は721百万円（前年同期比+377百万円 +109.7%）、経常利益は738百万円（同+393百万円 +114.1%）、四半期純利益は501百万円（同+284百万円 +131.0%）と増収増益となった。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

2. 2027年3月期 第1四半期決算（連結）について

◆ 営業損益の状況

- ✓ 営業収益は4,793百万円（前年同期比+1,686百万円 +54.3%）、営業利益は721百万円（同+377百万円 +109.7%）、四半期純利益は501百万円（同+284百万円 +131.0%）となった。
- ✓ AI・半導体関連株を中心とした好調なマーケット環境を背景に、主に株式売買、投資信託販売が増加し、前年同期比で増収増益となった。

（単位：百万円）

	2026年 3月期1Q	2027年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	3,107	4,793	54.3%	1,686
純営業収益	3,080	4,778	55.1%	1,698
販売費・ 一般管理費	2,736	4,057	48.3%	1,320
営業利益	343	721	109.7%	377
経常利益	345	738	114.1%	393
特別損益	△0	3	-	3
税引前四半期純利益	345	742	115.2%	397
法人税等合計	127	240	88.3%	112
四半期純利益	217	501	131.0%	284

（単位：百万円）

2026年3月期				2027年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
3,107	4,098	4,475	4,939	4,793
3,080	4,059	4,444	4,903	4,778
2,736	3,484	3,766	4,120	4,057
343	574	677	783	721
345	587	762	788	738
△0	△0	△0	△9	3
345	587	762	778	742
127	177	233	229	240
217	409	528	549	501

◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は、2,921百万円（前年同期比+1,261百万円 +76.0%）と増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は1,737百万円（同+779百万円 +81.2%）、投資信託の募集・売出し手数料は595百万円（同+300百万円 +101.5%）と増加した。信託報酬は297百万円（同+112百万円 +60.8%）と、投資信託の預り資産残高の増加（同+650億円）に伴い増加した。

（単位：百万円）

	2026年 3月期1Q	2027年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	1,660	2,921	76.0%	1,261

委託手数料の主な内訳				
株券	958	1,737	81.2%	779

募集・売出し手数料の主な内訳				
債券	52	53	1.1%	0
投資信託	295	595	101.5%	300

その他の受入手数料				
信託報酬	184	297	60.8%	112
アドバイザー報酬	-	38	-	38

（単位：百万円）

2026年3月期				2027年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
1,660	2,192	2,496	2,517	2,921

958	1,278	1,427	1,468	1,737

52	33	20	28	53
295	500	619	538	595

184	218	249	262	297
-	0	-	-	38

◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、1,696百万円（前年同期比+374百万円 +28.3%）と増収となった。
- ✓ 株券トレーディング損益は158百万円（同+74百万円 +88.9%）と増加。
- ✓ 債券等トレーディング損益は1,398百万円（同+236百万円 +20.4%）と、外貨建債券の販売高が増加したことに伴い増加。

（単位：百万円）

	2026年 3月期1Q	2027年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	83	158	88.9%	74
債券・為替等	1,237	1,537	24.2%	300
（債券等）	1,161	1,398	20.4%	236
（為替等）	75	139	83.2%	63
合計	1,321	1,696	28.3%	374

（単位：百万円）

2026年3月期				2027年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
83	170	189	90	158
1,237	1,500	1,590	2,152	1,537
1,161	1,421	1,443	2,045	1,398
75	79	146	107	139
1,321	1,671	1,780	2,243	1,696

◆部門別純営業収益推移

【ウェルスマネジメント部門】

- ✓ 部門収益は652百万円(前年同期比+23百万円 +3.8%)となった。主な内訳として、投資信託収益が114百万円(同+36.0%)、株式収益が405百万円(同+35.4%)、債券収益が70百万円(同△60.6%)となった。

【金融商品仲介サービス部門】

- ✓ 部門収益は4,051百万円(前年同期比+1,623百万円 +66.9%)となった。主な内訳として、投資信託収益が777百万円(同+98.7%)、株式収益が1,561百万円(同+89.8%)、債券収益が1,192百万円(同+40.5%)となった。

(単位：百万円)

	2026年 3月期1Q	2027年 3月期1Q	前年同期比 増加率	前年同期比 増加額
純営業収益	3,080	4,779	+55.1%	1,698
ウェルスマネジメント	628	652	+3.8%	23
金融商品仲介サービス	2,427	4,051	+66.9%	1,623
その他	24	75	+208.4%	50

2026年3月期				2027年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
3,080	4,059	4,444	4,903	4,779
628	651	666	663	652
2,427	3,378	3,742	4,215	4,051
24	28	35	23	75

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。

◆販売費・一般管理費

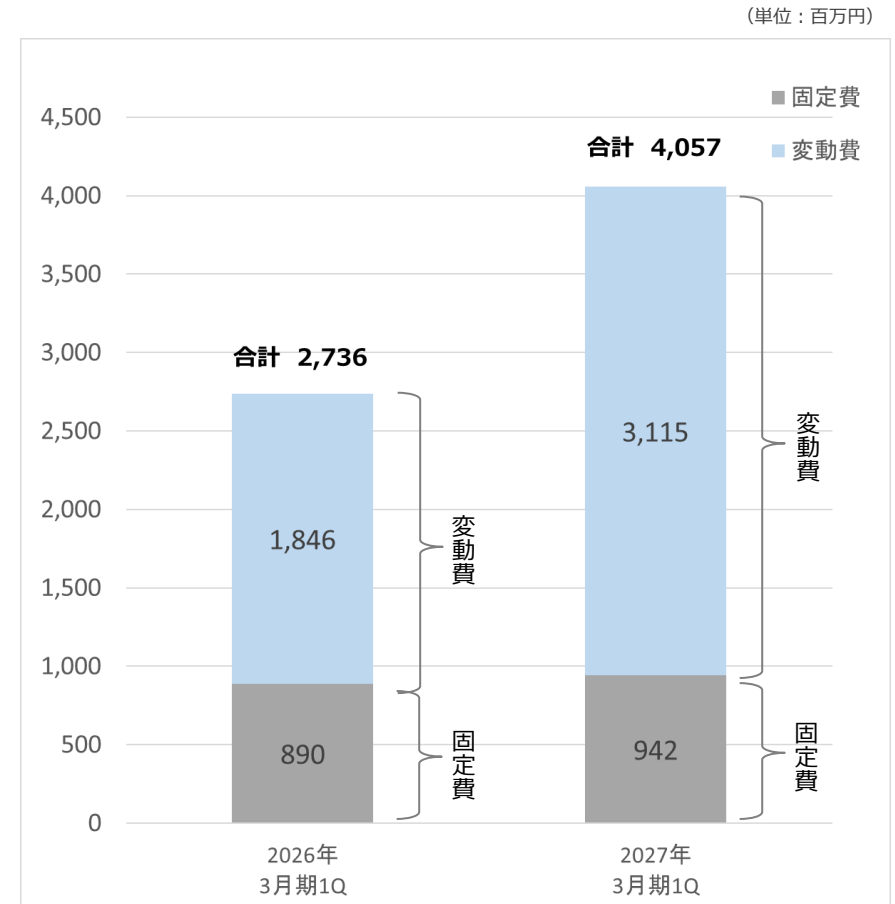
- ✓ 販管費は、4,057百万円（前年同期比+1,320百万円 +48.3%）と増加した。
- ✓ 固定費は+52百万円とほぼ横ばいとなった一方で、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が1,268百万円増加したことが要因となった。

(単位：百万円)

	2026年 3月期1Q	2027年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	1,554	2,455	57.9%	900
人件費	791	1,158	46.4%	367
不動産関係費	118	123	3.8%	4
事務費	205	234	14.3%	29
減価償却費	28	35	25.3%	7
租税公課	20	27	38.1%	7
雑費その他	18	22	22.6%	4
販売費・一般管理費計	2,736	4,057	48.3%	1,320

(単位：百万円)

	2026年 3月期1Q	2027年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	890	942	5.9%	52
変動費	1,846	3,115	68.7%	1,268



◆貸借対照表

- ✓ 資産は、現金・預金が5,377百万円増加し、外株取次先への差入保証金増加等によりその他流動資産が4,868百万円増加した。一方、預託金が4,775百万円減少したこと等により、前期末より5,815百万円増加した。
- ✓ 負債は、預り金が9,623百万円増加した一方で、短期借入金が3,600百万円減少したこと等により、5,313百万円増加した。
- ✓ 純資産は、四半期純利益の増加等により502百万円増加し、10,245百万円となった。

(単位：百万円)

	2026年3月期	2027年3月期 1Q	前年度末比 増減額
流動資産	47,254	53,048	5,794
現金・預金	3,287	8,664	5,377
預託金	34,697	29,922	△4,775
信用取引資産	5,568	5,891	323
その他流動資産	3,701	8,569	4,868
固定資産	1,690	1,711	21
資産合計	48,945	54,760	5,815

	2026年3月期	2027年3月期 1Q	前年度末比 増減額
流動負債	38,687	43,999	5,311
信用取引借入金	1,937	1,430	△507
預り金	28,238	37,861	9,623
短期借入金	5,100	1,500	△3,600
受入保証金	849	911	61
その他流動負債	2,562	2,296	△266
固定負債	450	451	1
特別法上の準備金	64	64	-
負債合計	39,202	44,515	5,313
純資産	9,742	10,245	502
株主資本	9,730	10,232	501
その他有価証券評価差額金	3	3	-
新株予約権	9	9	-
負債純資産合計	48,945	54,760	5,815

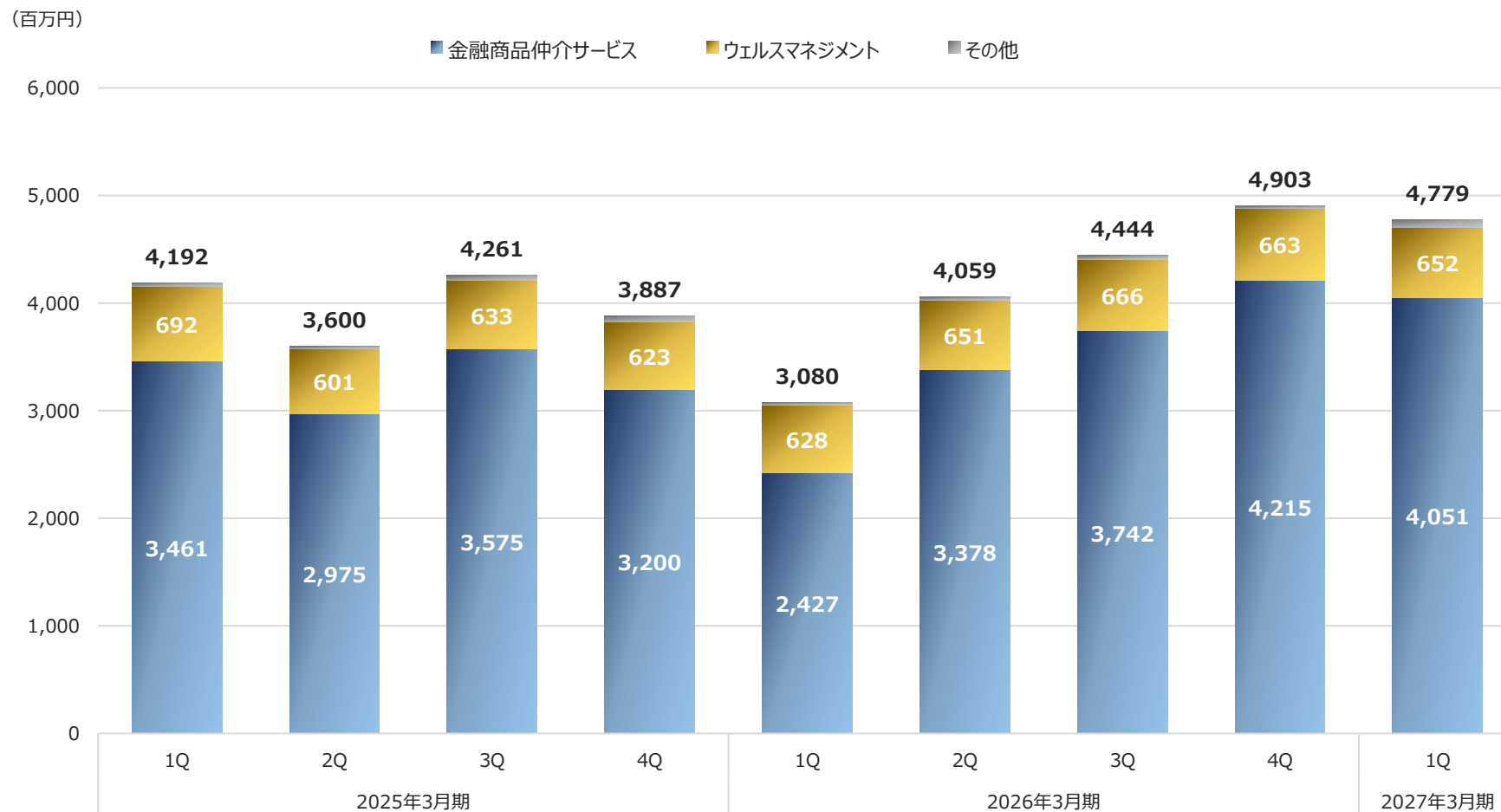
◆自己資本規制比率の状況

	2025年 3月期				2026年 3月期				2027年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
自己資本規制比率(%)	380.9	416.8	381.4	404.9	368.1	382.2	387.0	438.0	424.0
控除後自己資本	6,186	6,454	6,406	6,894	7,110	7,432	7,356	7,866	8,267
リスク相当額	1,623	1,548	1,679	1,702	1,931	1,944	1,900	1,795	1,949
市場リスク相当額	81	45	33	114	207	126	33	103	12
取引先リスク相当額	367	291	400	298	432	532	532	340	547
基礎的リスク相当額	1,174	1,211	1,245	1,289	1,291	1,284	1,334	1,351	1,389

3. 業績の推移について

◆純営業収益の推移（部門別）

✓ 当第1四半期における当社の純営業収益は、4,779百万円（前年同期比+1,698百万円）となった。

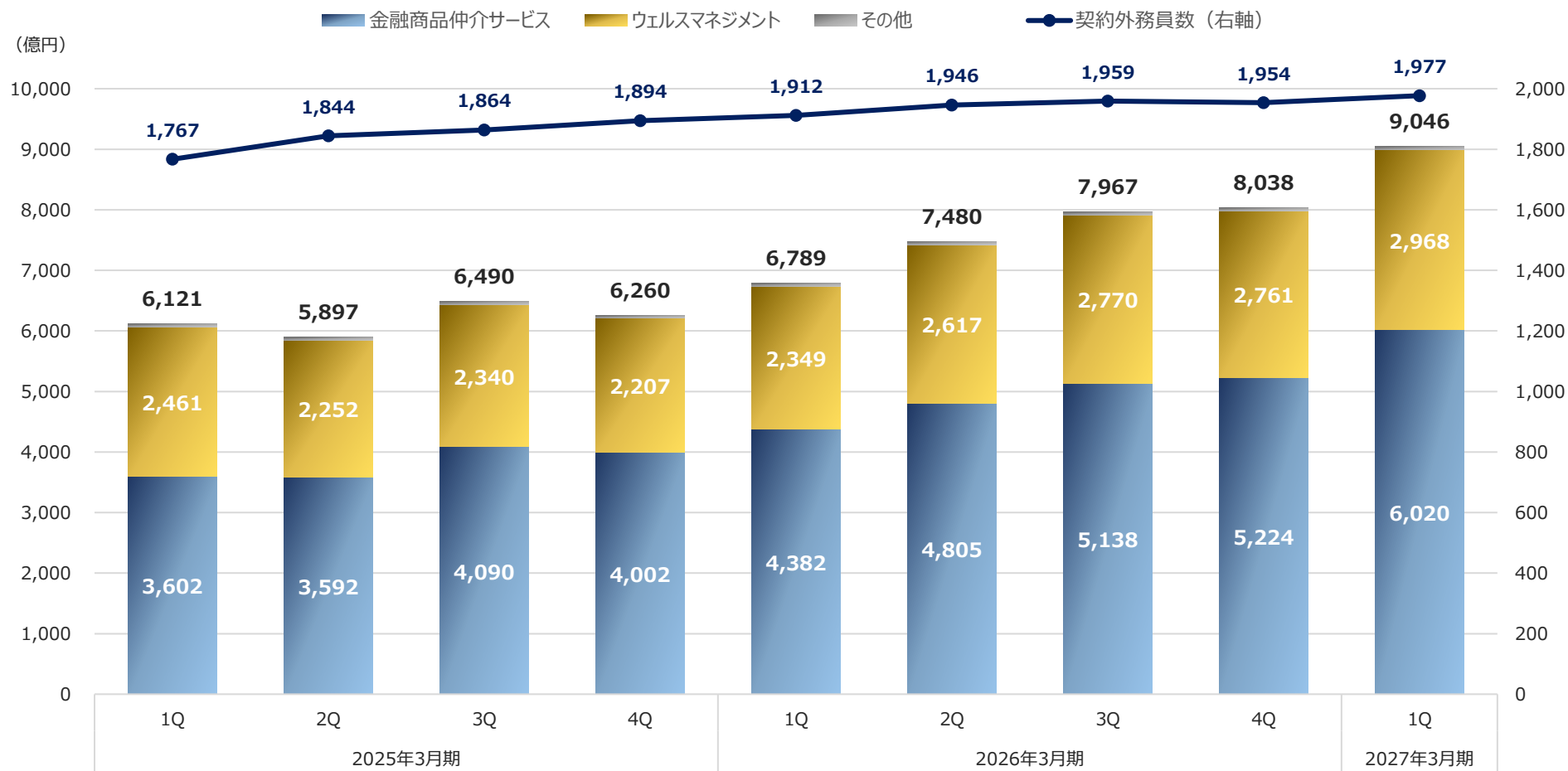


※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上していましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

◆ 預り資産残高の推移（部門別）

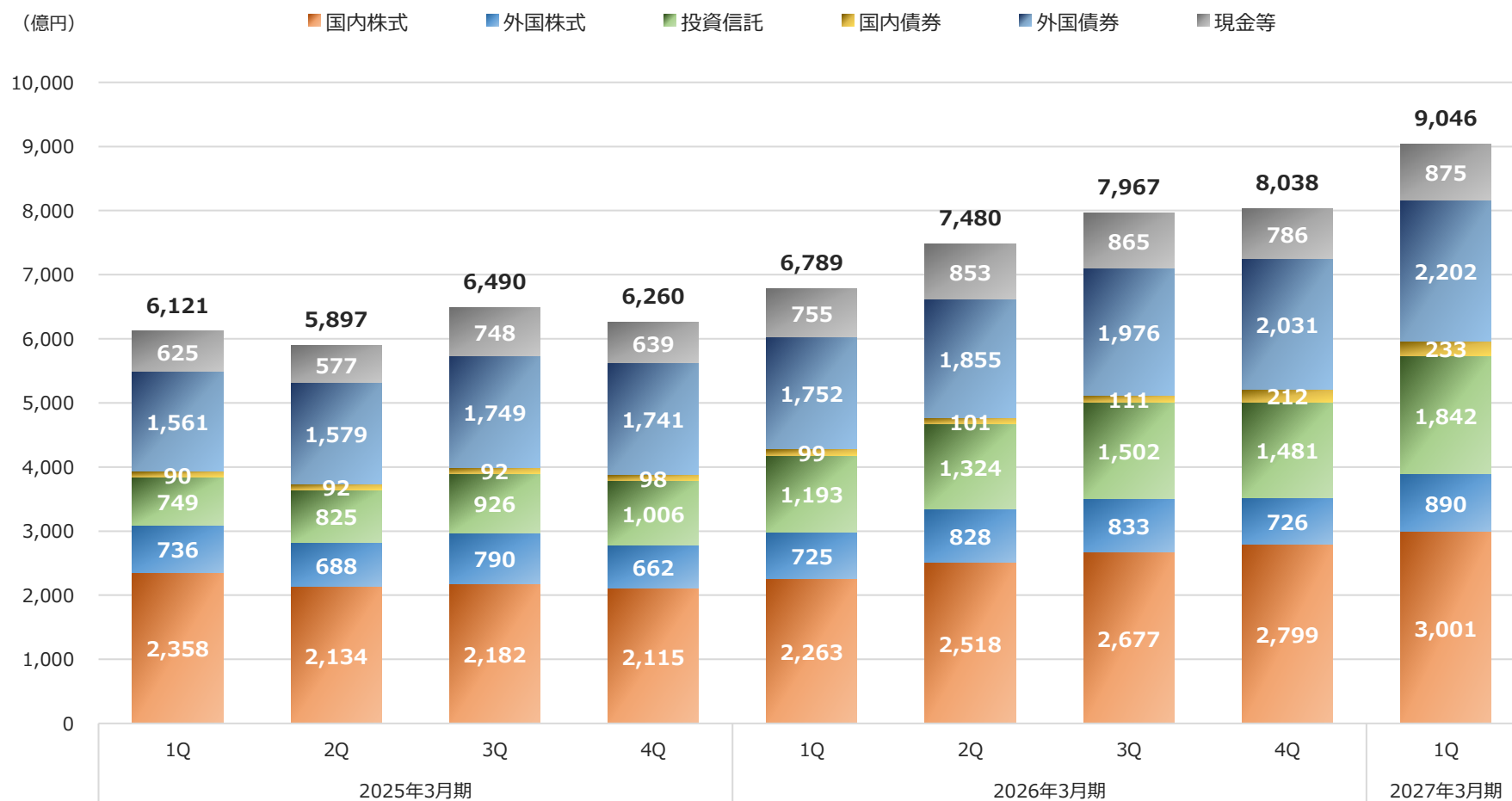
✓ 預り資産残高は、9,046億円（前年同期比+2,256億円）と過去最高となった。



※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。
 ※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。
 ※ 2025年10月より、一部顧客の預かり資産の区分をウェルスマネジメント部門から金融商品仲介サービス部門に変更しました。当該変更に従い、2025年10月以前の数値も遡及して変更しております。

◆ 預り資産残高の推移（商品別）

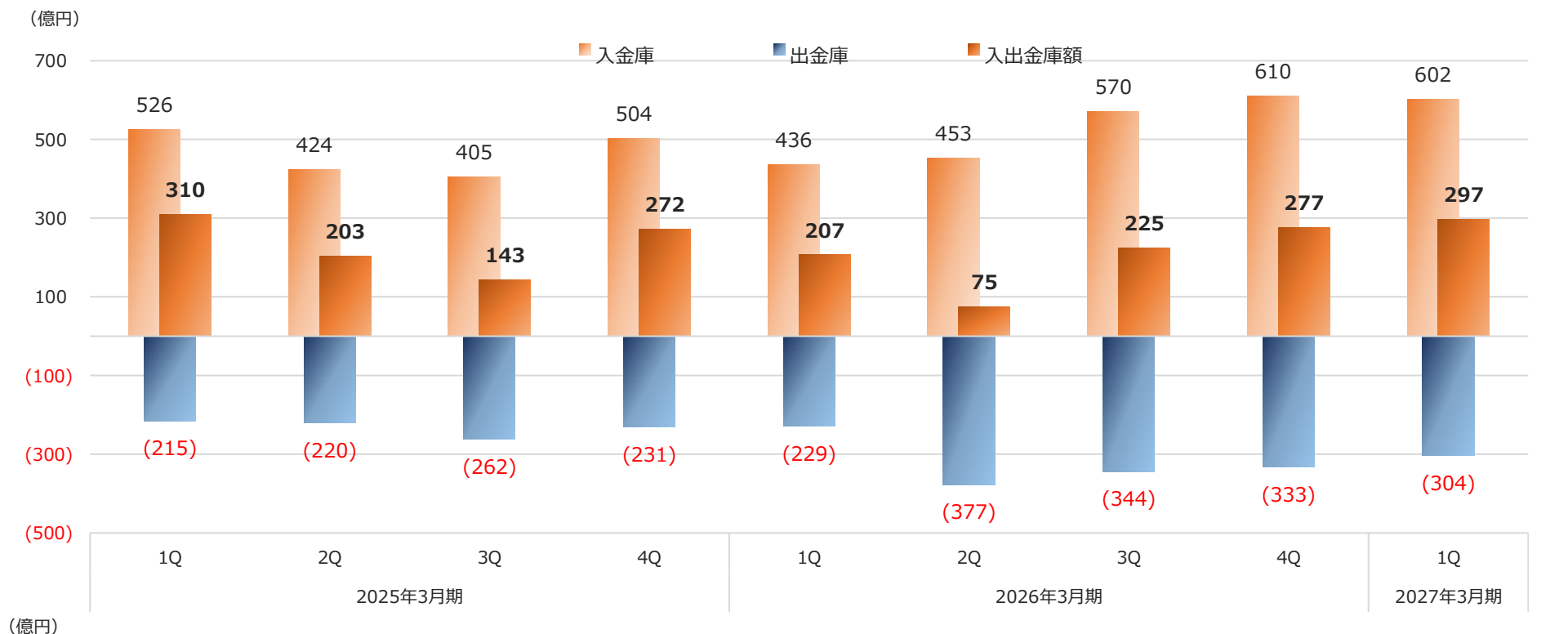
- ✓ 商品別の預り資産残高は、国内株式で3,001億円（前年同期比+738億円）、投資信託で1,842億円（同+649億円）、外国債券2,202億円（同+449億円）と増加した。



※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆入出金庫額の状況

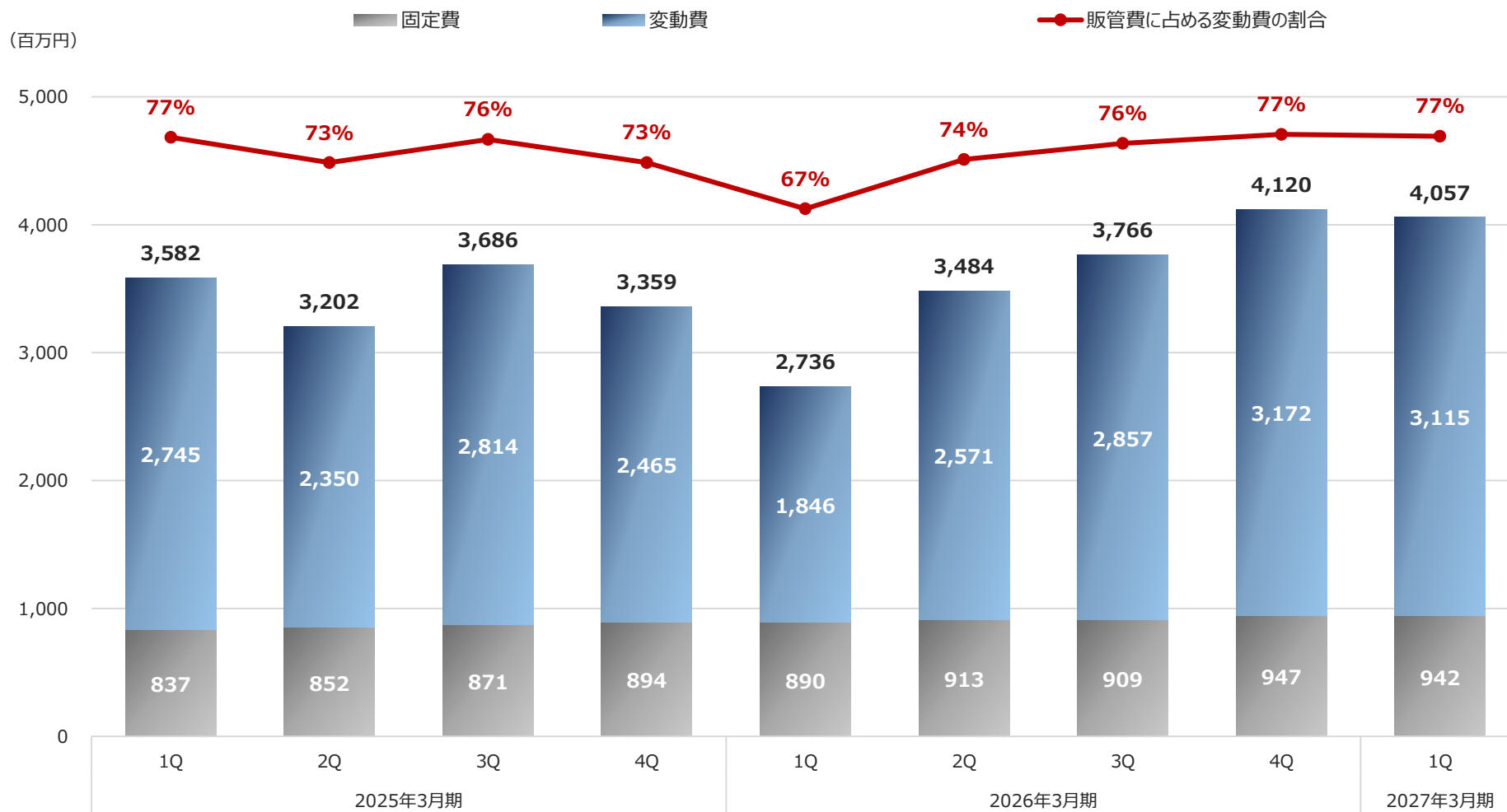
- ✓ 入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は、当第1四半期で297億円の純増となった。
金融商品仲介サービス部門の堅調な拡大に伴い、継続的に資金導入が図れている。



	2025年3月期					2026年3月期					2027年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
入金	456	374	346	431	1,609	383	410	493	560	1,848	486
入庫	69	50	59	73	251	53	43	76	49	222	115
入金庫	526	424	405	504	1,860	436	453	570	610	2,070	602
出金	△151	△185	△220	△197	△763	△196	△292	△264	△230	△983	△253
出庫	△64	△35	△42	△34	△176	△33	△85	△80	△102	△302	△51
出金庫	△215	△220	△262	△231	△930	△229	△377	△344	△333	△1,285	△304
入出金庫額	310	203	143	272	930	207	75	225	277	784	297

◆販管費及び販管費に占める変動費の割合

- ✓ 当第1四半期における当社の販管費は4,057百万円となり、販管費に占める変動費の割合は77%と引き続き高水準を維持しており、安定的な経営構造の確立を図っている。

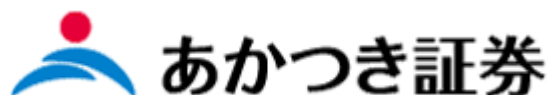


◆本資料に関して

本資料は、2027年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は2026年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



本社：東京都中央区日本橋小網町17番10号
商号等：あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会

お問い合わせ先：あかつき証券株式会社 経営企画部
TEL：03-5641-7800
URL：<https://akatsuki-sc.com>